

「美しい自然」

詩編 24編1～2節

聖学院幼稚園 教諭 田村 幸

5月に年長組のみんなで「乗り物ランド」を作りましたね。どんな乗り物を揃えるか、何色にするのか、具体的にどんな形なのか・・・友だちと相談し、何日も掛けて取り組みました。

まず、段ボール箱をたくさん集め、並べてみたり、積み重ね「乗り物の形」にしました。ガムテープを使うのが難しかったですね。次の日は、色を塗るために段ボール箱に白い紙を貼り付けていきました。初めて使った洗濯糊の感触が面白かったですね。糊が乾くと、最後は色塗りです。大きな形のものに絵の具を塗る事、色分けや模様をイメージしながら塗っていくのは大変な事でした。一つの工程が終わる度に「できた！」と、完成に近づくことを楽しみにして頑張りましたね。

神様も、同じような事を一番最初になさいました。何も無い世界に光と闇とを造り昼と夜が出来ました。神様は「よくできた！」とおっしゃいました。2日目には大空を作り「よく出来た！」と。3日目は海と陸とに分け、草や木が生えました。

神様は6日かかって色々なものを造られ、一つできる度「よくできた！」とおっしゃいました。神様は何日も掛けて造られたこの世界を、自然を、生き物を守ってくれる、大切にすることが出来る「人間」を最後に造られました。

2日前、みんなはお家を離れ、この御殿場「東山荘」にきました。東山荘での3日間、芝刈り機で芝を刈っている人、ゴミを拾っている人、掃除をしている人、沢山の「働く人たち」を見たと思います。この東山荘をきれいにし、東山荘の自然を守っている人たちです。そして私達は気持ちよく東山荘で過ごすことが出来ました。東山荘で働く人たちは、東山荘の自然を、神様が造られた自然を守るために働いています。

神様は、私たちにも「自然を守るように」、「大切にするように」と、おっしゃっています。花を見て「きれいだな」、大きな山や広い海を見ると「凄いなー」、と感動したり、楽しい気持ちになります。自然がずっと元気で美しくあるためにはどうしたら良いのでしょうか？神様は、私たちに必要な役目をお与えになりました。人間にしか出来ない役目です。そして、神様は「ちゃんと守りなさい！」と、おっしゃるだけでなく、私たちに「考える力」や「智慧」もお与えになりました。

小さな子どもも、大人も、みんなで「神様が造られた美しい自然」を守るために、いつも考え、出来ることをしていきましょう。

2015年7月10日 聖学院幼稚園 年長組お泊り保育での朝の礼拝